

(2) SR1中央部下層遺物出土状況(西から)

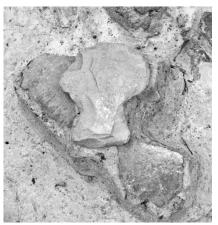




(3) SR1廃棄焼土検出状況(南西から)







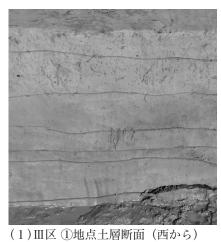
(5) SR1下層遺物出土状況(南から)(6) SR1下層遺物出土状況(東から)

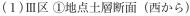


(7) SR2中央部土層断面(A断面 東から)



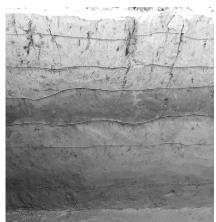
(8) SR2西半部遺物出土状況 (西から)







(2)Ⅳ区 ⑥地点土層断面(西から)



(3) II 区 ⑩地点土層断面 (東から)



(4)IV区 SQ1 (北から)



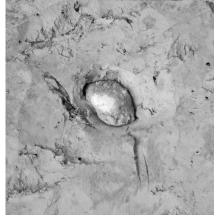
(5)IV区 SQ2 (北東から)



(6)IV区 II 層遺物出土状況 (東から)



(7)IV区 II 層遺物出土状況 (西から)



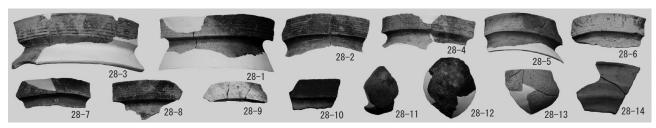
(8)Ⅱ区Ⅲ層遺物出土状況(東から)



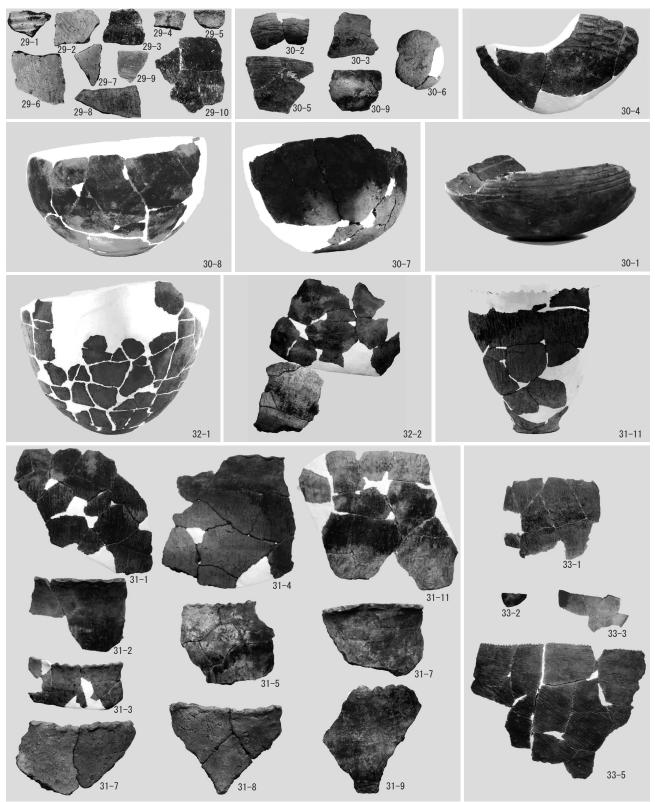
(9)Ⅲ区 Ⅱ層遺物出土状況 (南西から)



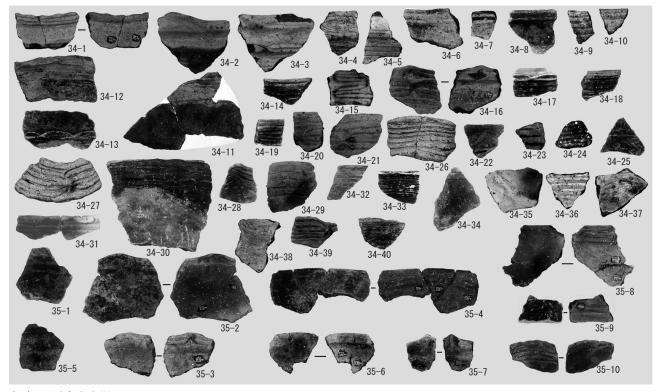
(10)Ⅲ区 Ⅱ層遺物出土状況 (南西から)



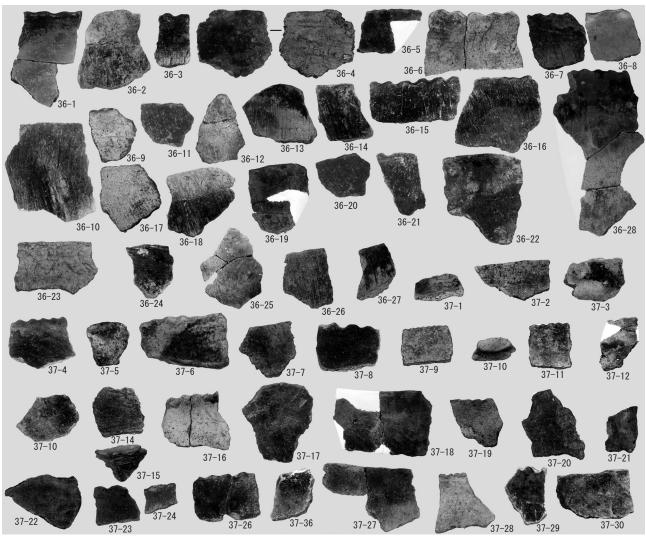
(1) Ⅱ区出土土器



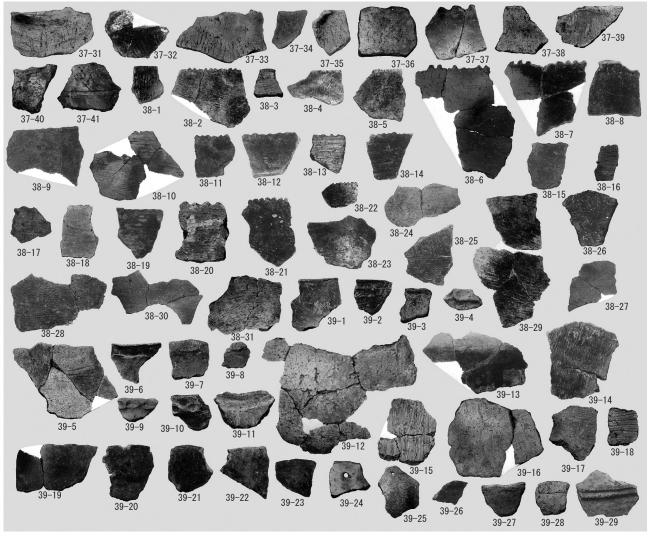
(2) Ⅲ区出土土器



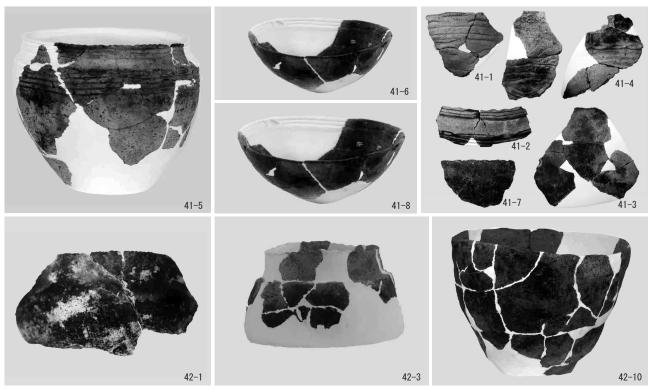
(1) Ⅲ区出土土器



(2) Ⅲ区出土土器

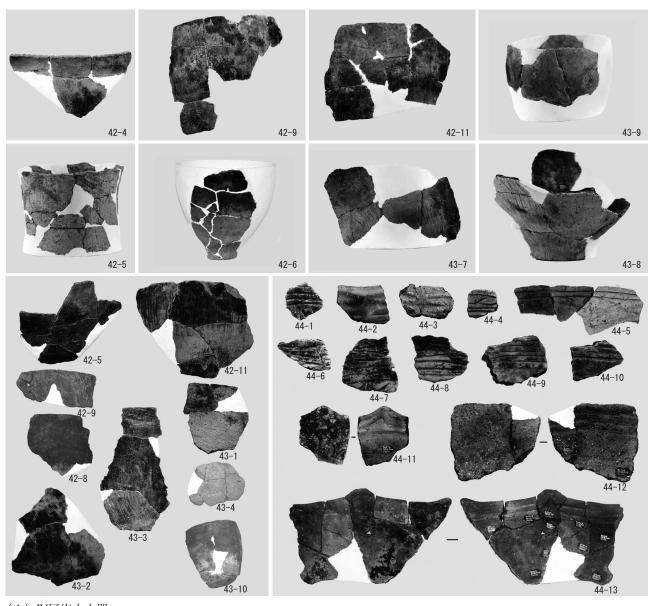


(1) Ⅲ区出土土器

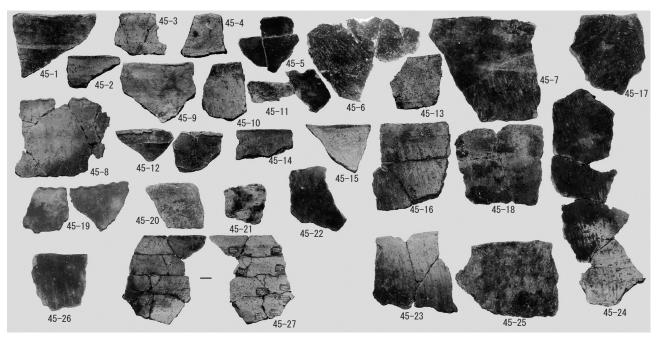


(2) IV区出土土器

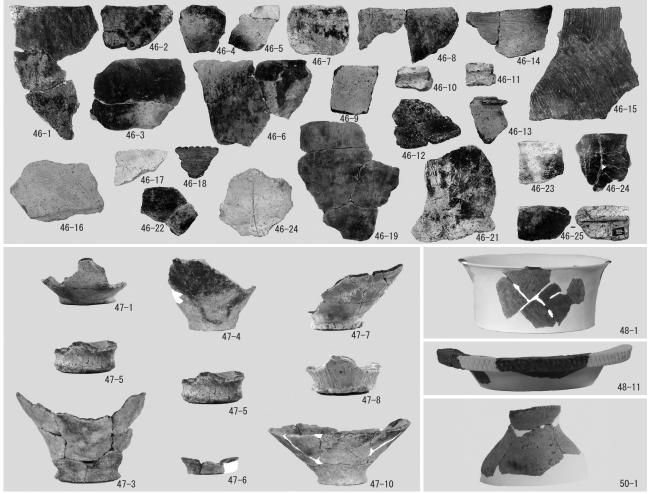
図版第二〇 遺 物 縄文土器



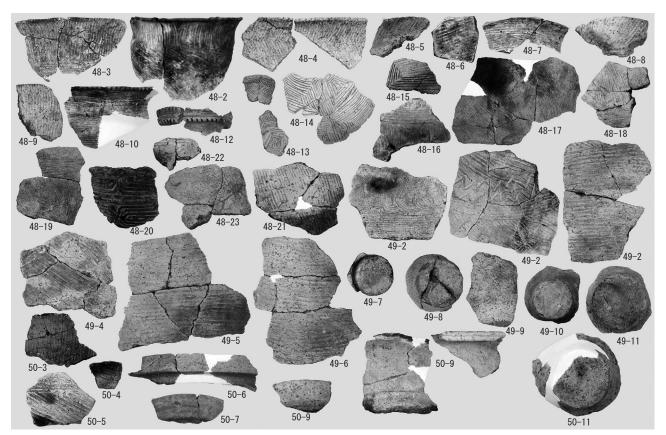
(1) IV区出土土器



(2) IV区出土土器

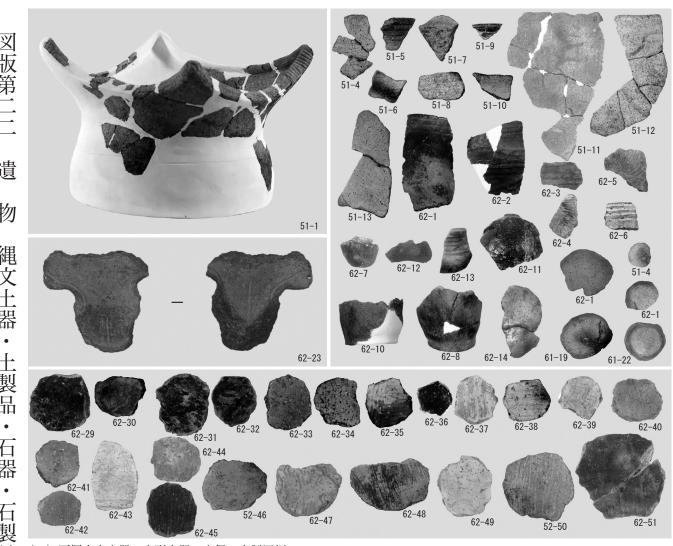


(1) IV区出土土器

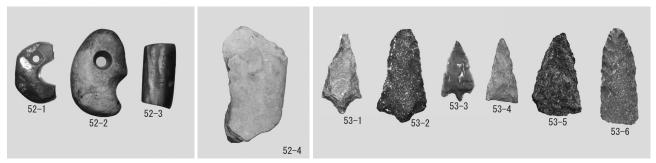


(2) IV区出土土器

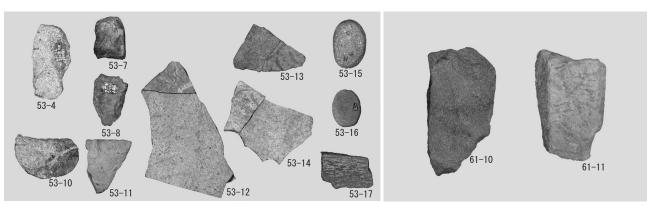
遺 物 縄文土器・土製品・石器・



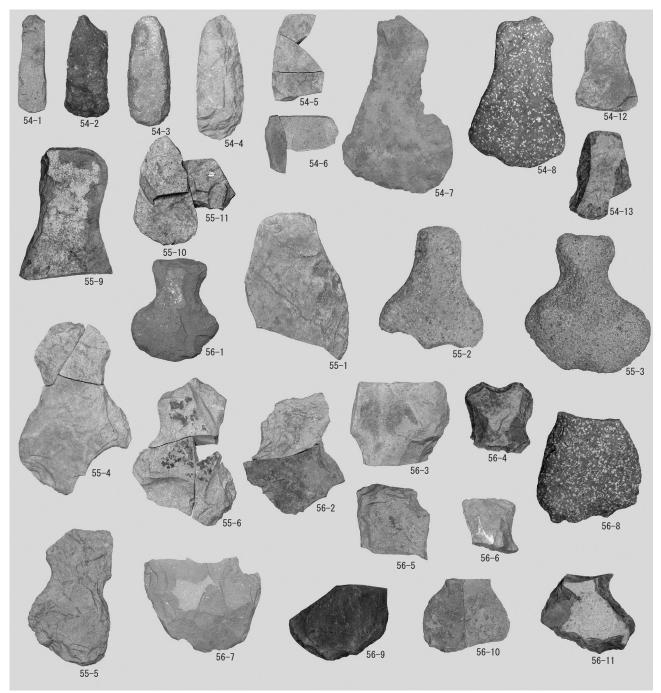
(1) 下層出土土器・小形土器・土偶・土製円板



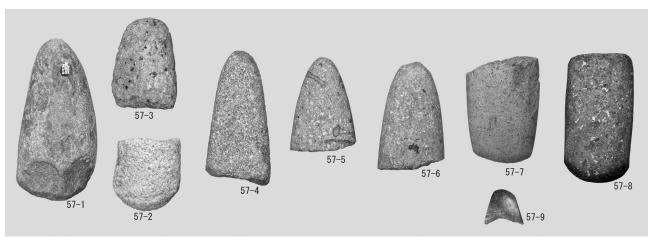
(2) 玉類・石剣・石鏃



(3)剥片石器・砥石

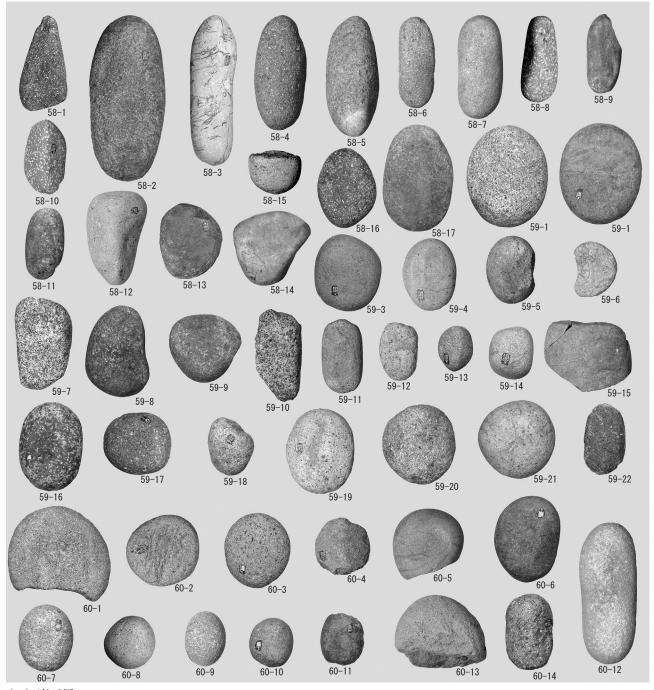


(1) 打製石斧

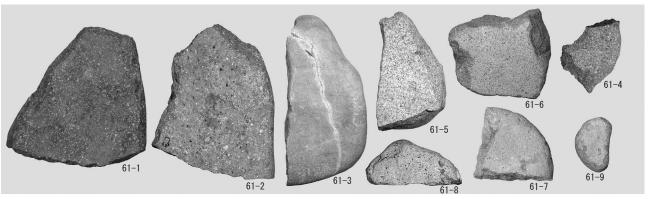


(2) 磨製石斧

図版第二四 遺 物 石器



(1) 磨石類



(2) 石皿

報告書抄録

ふりがな	かいほつ	いせき	チ・たかそ	 さたぎいせ:					
書名		かいほついせき・たかやなぎいせき 開発遺跡・高柳遺跡							
副書名	北陸新幹線建設事業に伴う調査 5 一般県道福井森田丸岡線道路改良事業に伴う調査 1								
巻 次									
シリーズ名	福井県埋	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第176集	第176集							
編著者名	山本孝一(編) 青木隆佳								
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター								
所 在 地	〒 918-8226 福井県福井市大畑町 97-21-3 TEL: 0776-53-7977 FAX: 0776-53-7997 E-mail: maibun-c@pref.fukui.lg.jp 2022 年 3 月 31 日								
ふりがな	ふりが			ード				調査面積	
所収遺跡名	所在地		市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	m m [*]	調査原因
mnison ve s 開光遺跡	福井県 福井市 福井市 開発5丁目	Ħ	18201	01134	36° 08′ 83″	136° 24' 22"	20140602 ~ 20141226	6,200	記録保存調査
hpokaš in tes 高柳遺跡	を発見した。 福井県 は井市 たかやなぎ 高柳1丁目	1	18201	01093	36° 08' 66"	136° 24′ 10″	20150601 ~ 20150831		
所収遺跡名	種 別	重 別 主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
開発遺跡・ 高柳遺跡	集落縄	縄文時代後期縄文時代晩期。		遺物集中域 3 箇所掘立柱建物 14 棟柱穴列 10 列 貯蔵穴 11 基旧河川 2 条 掘立柱建物 1 棟 貯蔵穴 11 基旧河川 1 条		縄文土器・石器・ 縄文土器・石器・ 石製品・土製品 弥生土器・石器・ 石製品		晩期遺構確認面より下層で包含層を検出。 柱材に半截材を使用。 旧河川から多量の土器・石器とともに土偶・ 石剣・ヒスイ製勾玉・ 管玉が各1点出土。 旧河川からヒスイ製勾 玉1点出土。 柱材に半截材を使用。	
	縄								
	弥								
	弥	弥生時代後期		溝4条		弥生土器			
	平	平安時代		溝1条		須恵器		遺構・遺物ともに少数。	
要約	開発遺跡・高柳遺跡における今回の調査区では、縄文時代晩期後葉を主体とし、弥生時代中期・後期、平安時代の遺構・遺物を検出した。各時期の遺構検出量には多少があるものの、遺構分布にはおおむね離散する傾向があり、土地利用の変遷として理解できる。縄文時代晩期後葉の遺構は掘立柱建物や柱穴列を中心とし、Ⅲ区とⅣ区で検出した各旧河川周辺に構築されており、比較的狭い範囲に集中して分布する。特にⅢ区では曲流する旧河川の外側となる左岸に掘立柱建物群、内側となる右岸にクルミを内包する貯蔵穴群が分布する。掘立柱建物や柱穴列の柱穴底面に残る柱材の圧痕から、丸太材の他に半截材の使用が判明した。県内においては、当該期の建物の検出例は少数ではあるが、柱材に半截材を用いた明確な事例としては初例となる。遺物は9割以上がⅢ・Ⅳ区の各旧河川から出土し、縄文時代晩期後葉に属す。特にⅢ区の旧河川からは、土器・石器の他、小形土器、土偶、石剣、ヒスイ製勾玉・管玉、弓なども出土した。								

福井県埋蔵文化財調査報告 第176集

開発遺跡・高柳遺跡

一 北陸新幹線建設事業に伴う調査5 ー一 一般県道福井森田丸岡線道路改良事業に伴う調査1 ー

令和4年3月 4日 印刷 令和4年3月14日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 〒 918-8226 福井市大畑町 97-21-3 印刷 藤田製本印刷株式会社 〒 918-8112 福井市下馬 3 丁目 810